

下田小だより

平成29年12月1日号
 文責 久留米市立下田小学校
 校長 平塚 宏子

土曜授業へのご参加、ありがとうございました。

25日(土)の「土曜授業」では、「学習発表会」「収穫祭」を行いましたところ、多数のご来賓・保護者・地域の方にご参加頂き、ありがとうございました。子ども達は、友達と協力しながら、これまで学習したことの中から表現したいことを、音読劇、詩や合奏、実演と自分たちの考え、英語劇等で表現していきました。



【1年生「くじらぐも」の音読劇「天までとどけ、1・2・3!」】

【5・6年生による英語劇「We are good friends!」(ももたろう)】



【2・3年生「季節の言葉」「各学年の合奏」】

【4年生「広げよう!パリアフリーの心」】

各学級の発表の後、全校合唱も2曲披露しました。本年度、下田小学校としては初めて、12月1日(金)の筑後地区音楽祭(合唱の部)に出場します。

塚本先生の指揮、下津浦先生・酒見先生のピアノ伴奏に合わせて、全校児童43名が声と心をそろえて、美しい合唱を体育館いっぱいに響き渡らせました。



【全校合唱「気球に乗ってどこまでも」「小さな勇気」】

「収穫祭」では、全校児童で植え収穫したサツマイモを使って、給食調理員さんに調理して頂いた「サツマ汁」と子ども達が作った「おにぎり」を、来賓・安全パトロールの方・保護者・児童・教職員等みんな一緒に、いただきました。



【16日に収穫したイモでサツマ汁】

【ラップでおにぎりを作って】

【みんな一緒に「いただきます。」】

※ 裏面もあります。

アンケートに記入して頂いたものから、一部ご紹介します。
子ども達の頑張りや教職員の指導について、たくさんおほめの言葉を頂き、ありがとうございます。

《アンケートより》

【学習発表会】

- 各学年、一生懸命発表できていたと思います。私語もなく、聞く姿勢も大変よかったです。
- 他学年の発表中、みんな静かに聞いていました。低学年も、えらいなと思いました。合唱、本番も楽しみです。
- 子ども達の素敵な笑顔に、元気をもらいました。
- 少人数だからこそ頑張れるパワーを感じました。下田小学校が、すべての人生における原点になるし、エールを送ります。
- 子ども達の頑張りや努力の姿が見られました。先生方の指導の賜と思います。
- 先生達の熱意を感じます。発表を聞く子ども達も、真剣に向かい合っていて素晴らしかったです。
- 皆が一緒に頑張っているという想いが伝わってきました。こちらも楽しい気持ちになりました。ありがとうございました。
- 全校合唱は、全員が成功させようと、恥ずかしがらずに大きな声で歌っている所を見て、先生方の努力・指導の熱心さがよく伝わってきました。全員の熱意がこもって、とても感激しました。

【収穫祭】

- さつまいも汁が大変美味しかったです。(多数)
- おにぎりも三角△になっていて、ビックリ！最後に温かいお茶を頂き、ありがとうございました。
- 準備等、大変だったと思いますが、温かいさつまいも汁が頂けて、温まりました。ありがとうございました。

他に、「プロジェクターの写真が見えにくかった。」「寒かったからかもしれないが、少し元気がなかった。」「(収穫祭は、) 兄妹たちがグループで、移動もあり、少し大変だった。」「地域の方の参加が少なかったの、残念。」等のご意見も頂きました。

頂いたご意見は真摯に受け止め、改善できる所は、次年度、改善していきたいと思っております。

今後とも、下田小学校の子ども達の成長を温かく見守って頂きますよう、お願いいたします。



11月16日(木)に、好天候の中、全校児童による「イモほり」をし、子どもの顔ぐらいある大きなイモから小ネズミぐらいの可愛いイモまで、いろいろな大きさ・形のサツマイモを掘りました。収穫したサツマイモは、25日(土)の「学習発表会」の後の「収穫祭」で、美味しいさつまいも汁に姿を変えて、保護者や来賓、交通安全パトロールの方などへ振る舞われました。

はやいもので今年もあと一月となりました。26日の収穫祭では、朝早くからいろいろな協力いただきまして、ありがとうございました。5年生の総合的な学習「米作り」を中心に、田植え、稲刈り、餅つきの3つを全学年で取り組む体験活動は、下田小学校の特色の一つでもあります。昨年も心に残ったことですが、子どもを、中心にすえ、学校、家庭、地域が手をつないで健やかな成長を支援していく活動であり、子どもたちにとっては日本の伝統や文化を身近に感じ、地域のよさを実感し愛着を持つ大切な機会であることを実感しました。今年も大変スムーズに収穫祭を終えられましたことを心より感謝申し上げます。

さて、2学期も残すところ16日です。学年の三分の二が終わります。裏に、各学年で身に付けることを挙げています。これらの項目を参照に、子どもたちの「今」をもう一度ご家庭でご確認下さい。そしてがんばっていることを具体的に褒め、もう少しのことには励ましのお声かけをお願いします。

温かく思いやりを持った子どもの育成

城島地域青少年育成協議会から、11月を「子ども・若者育成支援強調月間」として、温かく思いやりの心をもって行動できる子の育成を目指して標語や作文を募集がありました。本校からも6作品が選ばれました。どの標語も、優しい気持ちやみんなが仲良くなるための思いがよく伝わる作品です。自分たちが安心できるように自分たちで笑顔を増やしていこう、自分や友だちのいいところをたくさん実感していこう、けんかを自分たちで解決する「ごめんね」の魔法の言葉を使っていこう、かけがえのない命の大切さを知り家族への愛情を素直に表現していこう、足もとから世界中に視野を広げていこう、「大丈夫」を言われることの喜びを知っていこう・・・当たり前のことだけど本当に大切なこと、それを教えてくれる子どもたちの「輝く言葉」です。

- えがおはね やさしい気持ちが つたわるよ
- 見つけよう 自分や人の いいところ
- ごめんねと けんかした後 勇気を持って
- 命はね 母が生んだ 宝もの
- 世界中 輝く笑顔を 届けよう
- 大じょうぶ 優しい一声 ありがとう

～ 学校生活の～コマ～

- 2日は持久走記録会です。今年は運動場で行います。走っている子ども達を声の限り応援する下級生、伴走して励ます上級生、「去年は途中で止まったけど、今年は止まっていません」と笑顔で教えてくれた子もいました。子どもたちのがんばる姿に熱い声援を宜しくをお願いします。
- 4日はリサイクル活動です。朝早くからご協力いただきますこと心より感謝申し上げます。
- 3日13時30分から城島地域人権学習会が「城島げんきかん」であります。子どもたちの人権ポスターの発表や「多様な性～性同一障害～」の講演があります。人権意識や人権感覚を高める良い機会です。多くのご参加をお願いします。

【1年生】

- えんぴつを正しくもってもじをかくことができる。
- ひらがな、カタカナをよむこと、かくことができる。
- ぶんの中の「て、に、を、は」をつかいわけて、ぶんをかくことができる。
- 1年生でならうかん字をよみ、ぶんの中でかん字をつかってかくことができる。
- くり上がり、くり下がりのでいさんがたたくことができる。

【2年生】

- 自分の思ったことを文しょうに表すことができる。
- 2年生でならうかん字を読み、文の中でかん字を使って書くことができる。
- きょうか書の文しょうがすらすら読める。
- じゅんじょよく話をすることができる。
- かけ算九九がすらすらいえる。

- たし算、ひき算、かけ算のけい算を正しくできる。
- 決められた長さの直線をせいかくに引くことができる。
- 時計の長い針と短い針を見て、何時何分かをよむことができる。

【3年生】

- 3年生で習う漢字を読み、文や文章の中で漢字を使い書くことができる。
- 教科書をすらすら読み、短い詩や百人一首などをいくつかあんしょうすることができる。
- ローマ字を正しく読むことができる。
- かけ算（3位数×2位数）やわり算など、正しい手順で計算することができる。
- はかりを使って重さをよむことができる。

【4年生】

- 4年生で習う漢字を読み、文や文章の中で漢字を使い書くことができる。
- 教科書をすらすら読み、短い詩や百人一首などを暗しょうすることができる。
- 文と文のつながりを考えながら、しじ語やせつぞく語を使うことができる。
- かけ算やわり算（3位数÷2位数）が、正しい手順で計算することができる。
- 分度器を正しく使うことができる。
- 地図を使ってみしらぬ場所や地名を調べることができる。
- 47都道府県の位置が分かり、正しく名前を書くことができる。

【5年生】

- 5年生で習う漢字を読み、文や文章の中で漢字を使い書くことができる。
- 今まで習った漢字を使った熟語の8割以上を読むことができる。
- 教科書の文章をすらすら読むことができる。
- 新聞を読むことができる。
- 小数のかけ算、わり算の意味が分かり計算できる。
- 分数の足し算、引き算の意味が分かり計算できる。
- 百分率を使った問題を解くことができる。
- 文章問題の式を説明することができる。

【6年生】

- 6年生で習う漢字を読み、文や文章の中で漢字を使い書くことができる。
- 教科書の文章をすらすら読むことができる。
- 新聞を読むことができる。
- 分数の足し算、引き算、かけ算、わり算の意味が分かり正しく計算できる。
- 文章問題の式を説明することができる。
- 歴史上の人物や出来事について、自分の言葉で説明することができる。
- 社会科の学習に出てくる用語を自分の言葉で説明することができる。
- 日本や主な世界の国々の位置を正しく示すことができる。
- 難しい言葉を自分から辞書を使って調べることができる。